



# 2020年度 通期決算説明資料

**トピー工業株式会社**

証券コード 7231

1. 2020年度（2021年3月期）通期決算
2. 2021年度（2022年3月期）通期業績予想
3. 2020年度の主要な取り組み及び今後の動向  
～中期経営計画“Growth & Change 2021”に沿った取り組み～

## 1. 2020年度（2021年3月期）通期決算

- コロナ影響で、営業利益は2019年度比減収減益となるも、当期純損失は回避。
- 自動車・産業機械部品事業では、年度前半に大きく需要が減少したものの徐々に回復。
- 年度後半の鉄スクラップ価格の急激な上昇に対し、販売価格の改善が追い付かずメタルスプレッドが悪化。

## 2. 2021年度（2022年3月期）通期業績予想

- 全てのセグメントにおいて、コロナ影響は残るものの販売数量の回復を想定し増収増益を予想。
  - 年間配当金は1株当たり40円を予想。
- 2021年度の課題：スクラップ価格に合わせた鋼材価格の是正。

## 3. 2020年度の主要な取り組み及び今後の動向

～中期経営計画“Growth & Change 2021”に沿った取り組み～

- 当社を取り巻く事業環境は大きく変化したものの、G&C2021の重点項目に沿って、さらに踏み込んだ企業基盤強化を進め収益力向上を目指す。



**2020年度（2021年3月期）  
通期決算**

# 2020年度 通期決算 (2019年度比)



コロナ禍の影響により、減収減益。自動車・産業機械部品事業における需要の大幅な減少に加え、年度後半での鉄スクラップ価格の急騰等の影響を受け、営業利益は△58億円の減益。

(単位：億円) 【参考】

	2019年度実績	2020年度実績	前期比		2020年度実績	
			増減	増減率	上期	下期
売上高	2,633	<b>2,251</b>	△382	△14.5%	974	1,277
営業利益 (営業利益率)	29 (1.1%)	<b>△29</b> <b>(△1.3%)</b>	△58 (△2.4%)	— (—)	△42 (△4.3%)	13 (1.0%)
経常利益	36	△6	△42	—	△39	33
親会社株主に帰属 する当期純利益	△45	<b>6</b>	※51	—	△42	<b>48</b>
1株当たり 配当(円)	40	<b>20</b>	△20	—		

※親会社株主に帰属する当期純利益については、当期の投資有価証券売却益(16億円)の計上と、前期の投資有価証券評価損(△19億円)および繰延税金資産の取り崩しによる法人税調整額(△47億円)の計上との差によって大幅な増益。

## ■ 外部環境

海外経済	×	米国	コロナ禍の影響が甚大であったが、年度後半は徐々に回復
	－	中国	コロナ禍からいち早く回復を見せ始める
	×	東南アジア	コロナ影響で景気低迷
日本経済	×	国内外の需要が大幅に減少	

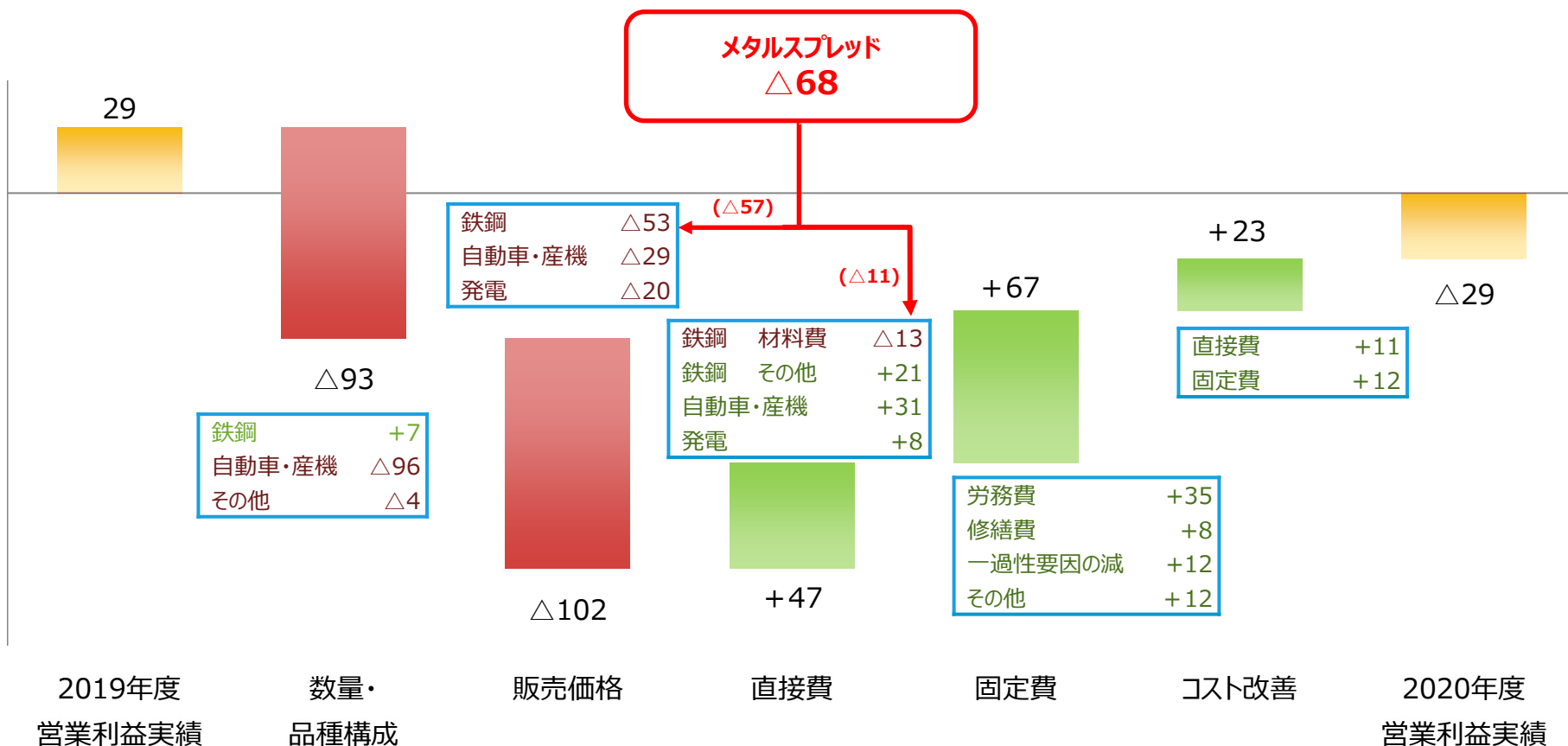
## ■ 当社グループ

鉄鋼事業	×	製造業において鋼材需要が低調に推移したものの年度後半に回復の兆し	
	×	鋼材販売価格の回復が遅れる中、年度後半に鉄スクラップ価格が急騰	
	○	エネルギー・副資材コストは低下	
自動車・産業機械部品事業	×	自動車用ホイール	世界的に自動車需要が減少
	－	履板・履帯	経済活動の再開とともに回復基調
	×	鉱山機械用ホイール	年度終盤に回復したものの、鉱山機械需要は大幅に減少

# 営業利益増減要因 (2019年度比)

大幅な需要減少に即応した生産稼働体制の見直し等により固定費を圧縮(+67億円)するとともに、コスト改善(+23億円)を行ったものの、年度前半の自動車・産業機械部品事業における需要の大幅な減少や、年度後半のメタルスプレッドの悪化等により△58億円の大減益。

■ 増益要因 ■ 減益要因 (単位：億円)



# セグメント別業績 (2019年度比)

鉄鋼事業はメタルスプレッドの悪化（△68億円）の影響が大きく、△28億円減益。自動車・産業機械部品事業は販売数量減少（△96億円）の影響が残り△19億円減益。

(単位：億円)

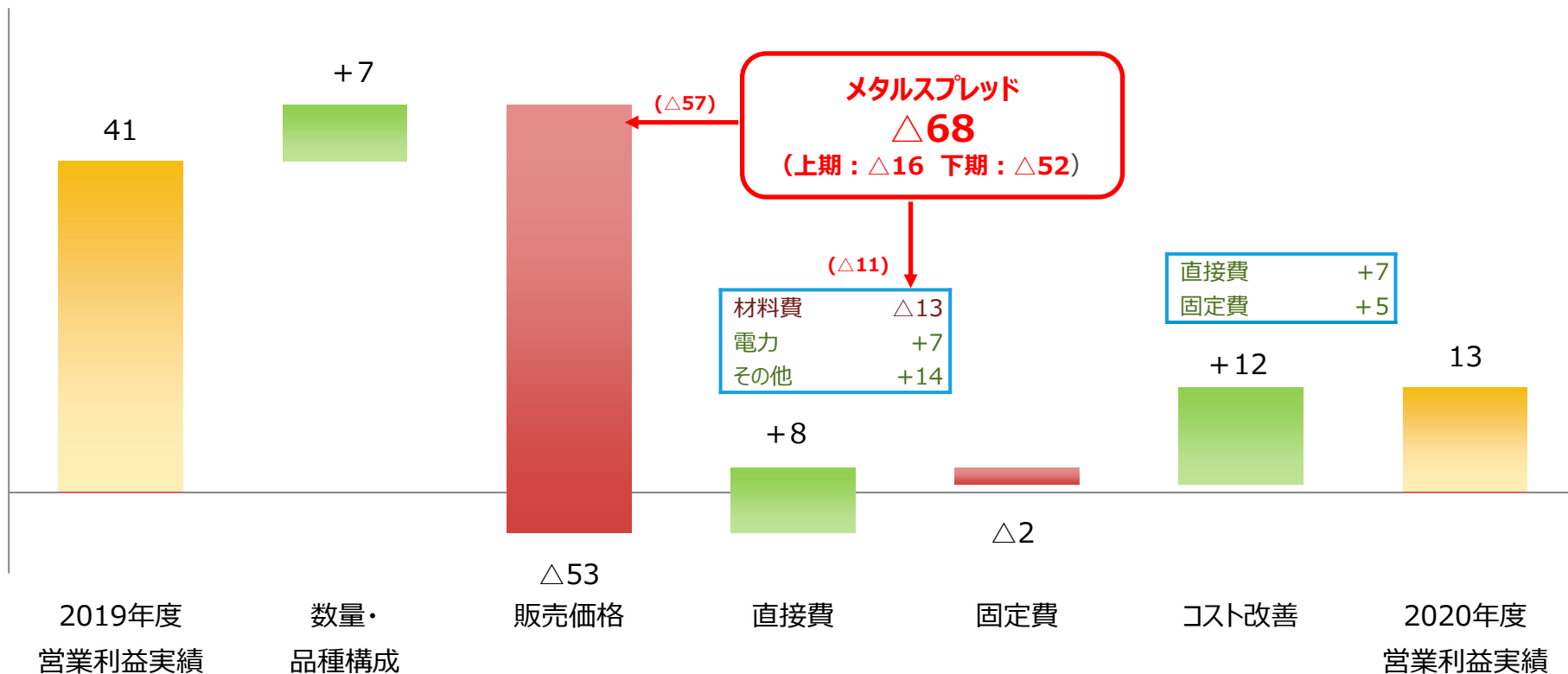
	2019年度		2020年度		前期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼事業	734	41	<b>757</b>	<b>13</b>	+23	△28
自動車・産業機械部品事業	1,740	17	<b>1,361</b>	△2	△379	△19
発電事業	93	9	<b>76</b>	<b>2</b>	△17	△7
その他	66	9	<b>57</b>	△2	△9	△11
消去	—	△47	—	△40	—	+7
合計	2,633	29	<b>2,251</b>	<b>△29</b>	△382	△58



# 鉄鋼事業 利益増減要因 (2019年度比)

鉄鋼需要が低迷する環境下、副資材・エネルギー価格の低下やコスト改善があったものの、年度前半のスクラップ価格の低下を受けて販売価格が下落する中で、年度後半よりスクラップ価格が急騰し、メタルスプレッドが悪化。販売数量は前期を上回ったものの△28億円の減益。

■ 増益要因 ■ 減益要因 (単位：億円)

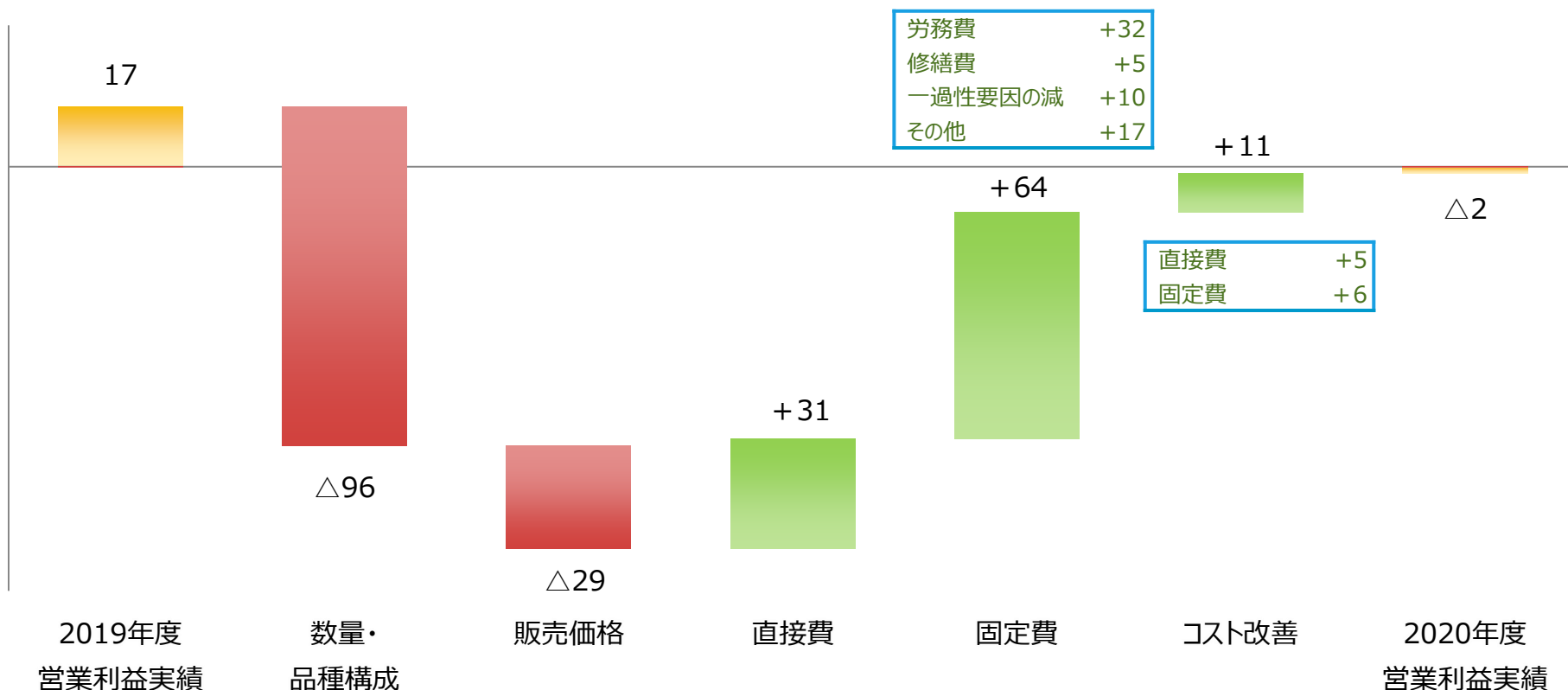


# 自動車・産業機械部品事業 利益増減要因 (2019年度比)



コロナ影響による顧客の工場操業停止や国内外の需要低迷により、乗用車用を中心に販売数量が大幅に減少。固定費削減に取り組んだものの△19億円の減益。

■ 増益要因 ■ 減益要因 (単位：億円)



# 地域別売上高

日本国内以上にコロナによる海外景気の減速による売上減少が大きく、中国を除き海外売上比率が減少。  
(単位：億円)

	日 本	アメリカ	中 国	そ の 他	合 計
鉄 鋼 事 業	708 (93.6%)	7 (0.9%)	0 (0.0%)	42 (5.5%)	757 (100.0%)
自動車・産業機械 部 品 事 業	891 (65.5%)	163 (12.0%)	120 (8.8%)	187 (13.7%)	1,361 (100.0%)
発 電 事 業	76 (100.0%)	- -	- -	- -	76 (100.0%)
そ の 他	56 (97.5%)	0 (0.4%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)	57 (100.0%)
合 計	1,731 (76.9%)	170 (7.6%)	120 (5.3%)	230 (10.2%)	2,251 (100.0%)
海 外 比 率	<b>23.1%</b>	<b>(自動車・産業機械部品事業 海外比率 34.6%)</b>			

〈参考〉2019年度実績

合 計	1,875 (71.2%)	311 (11.8%)	128 (4.9%)	318 (12.1%)	2,633 (100.0%)
海 外 比 率	<b>28.8%</b>	<b>(自動車・産業機械部品事業 海外比率 40.0%)</b>			



**2021年度（2022年3月期）  
通期業績予想**

# 2021年度の経営環境想定（2020年度比）

## ■外部環境

海外経済	○	米国	新政権の経済政策の効果等により回復が継続
	○	中国	堅調に拡大
	○	東南アジア	遅れはあるものの景気持ち直しの動き
日本経済	○	経済の持ち直しを背景に、緩やかに回復	

## ■当社グループ

鉄鋼事業	○	国内外ともに鋼材需要は総じて回復基調継続を見込む	
	×	鉄スクラップ価格は上昇基調が継続	
	×	エネルギー・副資材価格が上昇傾向	
自動車・産業機械部品事業	○	自動車用ホイール	米国を始めとして自動車需要が増加
	—	履板・履帯	需要は前期並みを見込む
	○	鉱山機械用ホイール	資源価格の上昇を背景に需要が拡大

# 2021年度通期業績予想 (2020年度比)

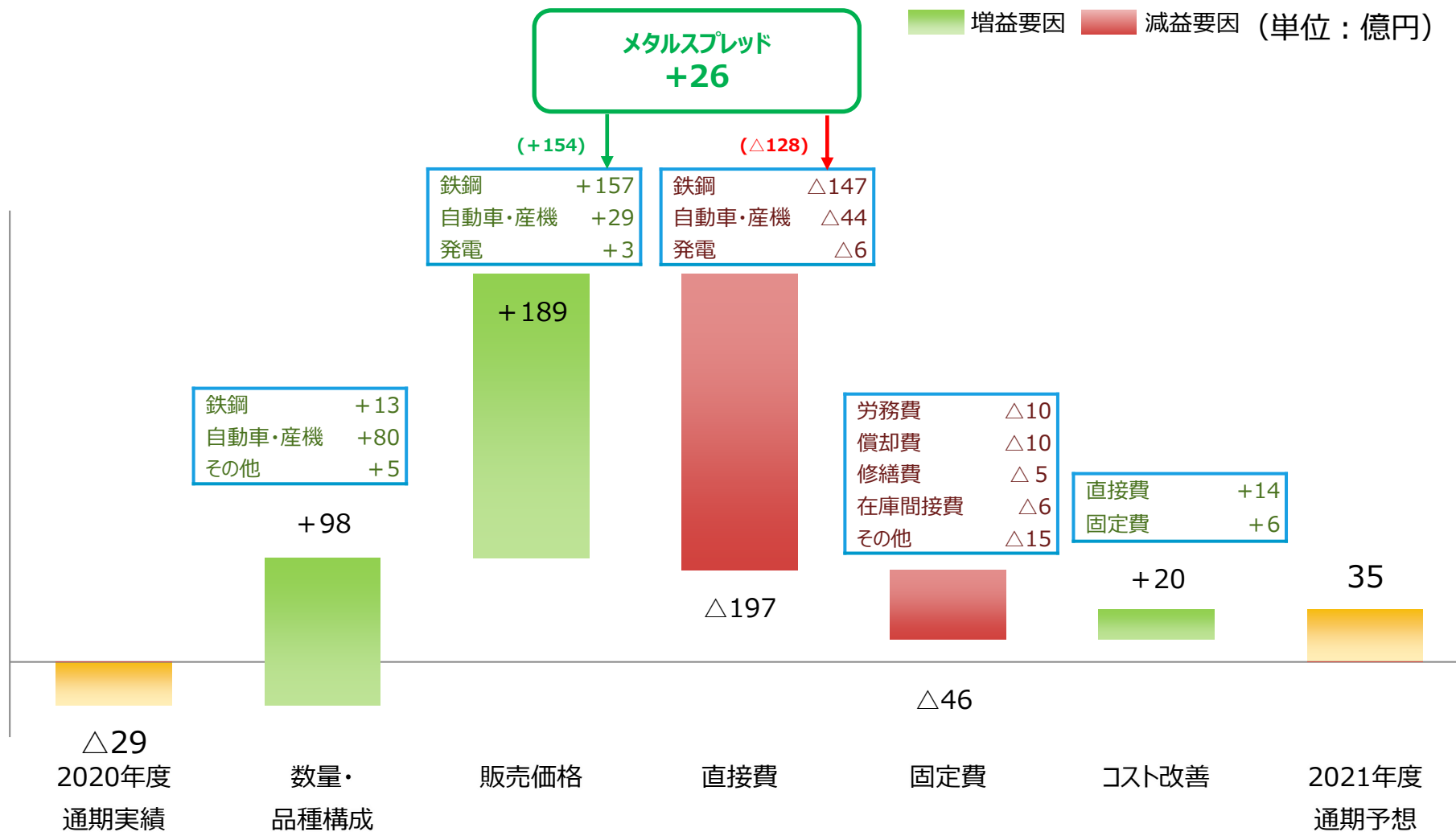


各事業における販売数量等が徐々に回復することが想定され、増収増益を予想。1株当たりの年間配当は40円を予定。(2021年度売上高は、新基準「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号)等を適用) (単位：億円)

	2019年度 通期実績	2020年度 通期実績	2021年度 通期予想	前 期 比	
				増 減	増減率
売 上 高	2,633	2,251	<b>2,350</b>	+99	+4.4%
(旧基準)	-	-	(2,790)	(+539)	(+23.9%)
営 業 利 益 (営業利益率)	29 (1.1%)	△29 (△1.3%)	<b>35</b> <b>(1.5%)</b>	+64 (+2.8 <sup>ポイント</sup> )	- (-)
経 常 利 益	36	△6	<b>40</b>	+46	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△45	6	<b>30</b>	+24	-
1株当たり 配当(円)	40	20	<b>40</b>	+20	-

# 営業利益増減要因 (2020年度比)

自動車・産業機械事業の販売数量増加および、鉄鋼事業におけるメタルスプレッドの拡大等により、前年度比増益を予想。



# セグメント別業績予想

市場回復に伴い販売数量も増加。自動車・産業機械部品事業は+45億円の増益。鉄鋼事業は+24億円の増益を見込む。(2021年度売上高は、新基準「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号)等を適用)

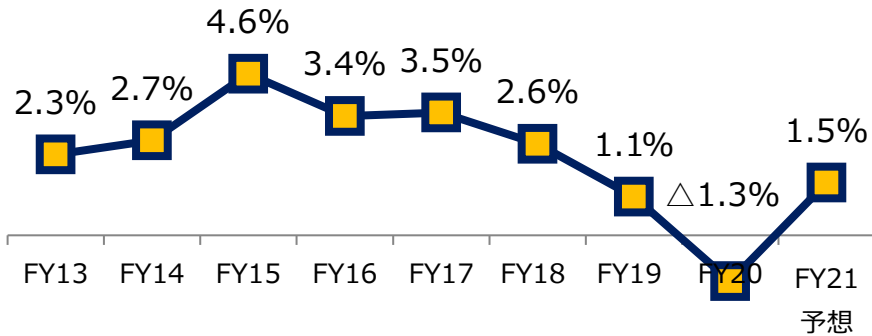
(単位：億円)

	2020年度通期実績		2021年度通期予想		前 期 比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄 鋼 事 業	757	13	<b>681</b>	<b>37</b>	△76	+24
(旧基準)			(1,008)		(+251)	
自 動 車 ・ 産 業 機 械 部 品 事 業	1,361	△2	<b>1,529</b>	<b>43</b>	+168	+45
(旧基準)			(1,637)		(+276)	
発 電 事 業	76	2	<b>80</b>	<b>1</b>	+4	△1
(旧基準)			(80)		(+4)	
そ の 他	57	△2	<b>60</b>	<b>2</b>	+3	+4
(旧基準)			(65)		(+8)	
消 去	-	△40	-	△48	-	△8
合 計	2,251	△29	<b>2,350</b>	<b>35</b>	+99	+64
(旧基準)			(2,790)		(+539)	

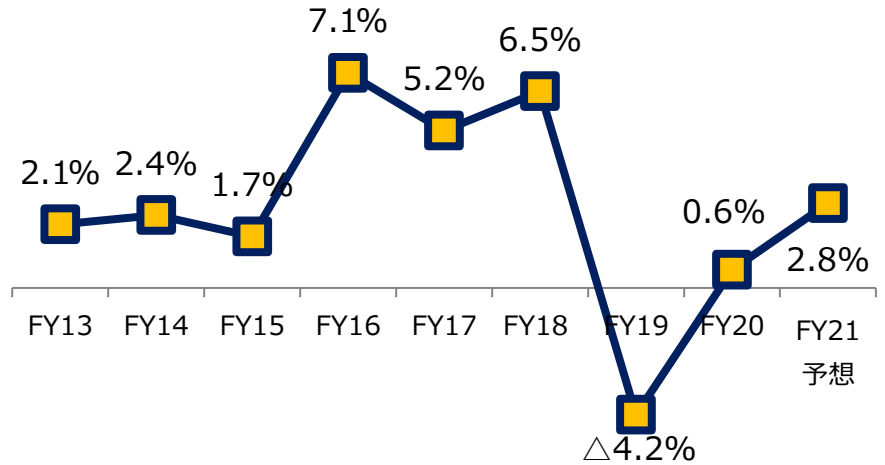


# 主要指標推移

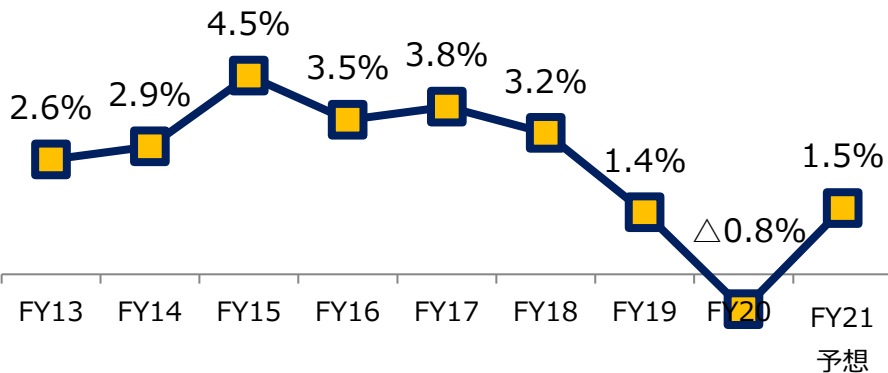
## 売上高営業利益



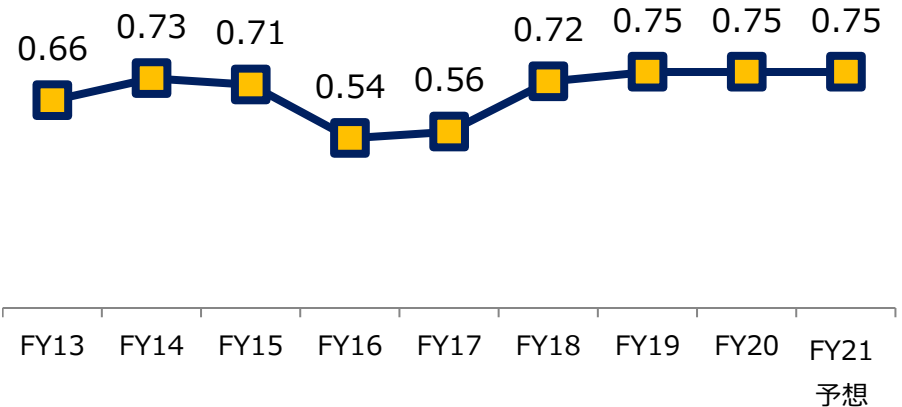
## 自己資本利益率 (ROE)



## 総資産事業利益率 (ROA)



## D/Eレシオ





# 2020年度の主要な取り組み および今後の動向

中期経営計画“Growth & Change 2021”に沿った取り組み

# 2020年度の主要な取り組み及び今後の動向

- ・ コロナ禍等で、当社を取り巻く事業環境は大きく変化したものの、G&C2021で掲げる重点戦略に基づく取り組みを継続しており方向性自体は不変。
- ・ 基本的に取り組みは維持しつつ、市場変化等の状況に対応し、生産体制の見直し等を進め、収益力向上や持続的成長に向けた一層の企業基盤の強化に注力。

収益力向上

重点テーマ	
事業セグメント等	2020年度の取り組み状況
<b>■ 収益力向上</b>	
全社	・ 営業本部の新設（2021年4月より始動）
	・ 生産ラインの最適化、一層の推進（設備合理化・一部生産ライン休止）
	・ バリューチェーン全体のコスト改善を推進（コスト改善額：23億円/年）
	・ トピーアメリカの新ライン立ち上げにより生産能力向上(2020年10月稼働開始)
<b>■ グループシナジーの発現</b>	
自動車・産業機械部品事業	・ 共同購買活動、営業部門の一元化、技術の共通化を推進 ・ グループ生産体制の最適化検討
<b>■ 戦略製品拡充</b>	
鉄鋼事業	・ フォークリフト用マストレールを海外顧客向けに拡販 ・ 保管効率の良い鉄筋コンクリート用棒鋼TACoilの大型コイル開発（2020年4月より2トンコイル発売開始）
自動車・産業機械部品事業	・ 商用車ホイール分野で、日本初の3層塗膜構造を採用した「高輝度メタリックカラーホイール」発売
その他	・ 素肌と類似した発色構造をもつパールマイカを株式会社コーサーと共同開発

# 2020年度の取り組みおよび今後の方向性

持  
続  
的  
向  
成  
け  
長  
て  
に

重点テーマ	
事業セグメント等	2020年度の取り組み状況
<b>■ イノベーションへの挑戦</b>	
全社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX（デジタルトランスフォーメーション）推進 →ERP（基幹システム）の刷新、立ち上げ完了</li> <li>→スマートファクトリー活動の推進</li> <li>・働きがい向上活動の深化による創造的な職場づくりと人財育成</li> </ul>
<b>■ さらなる企業基盤の強化</b>	
鉄鋼事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境にやさしい現場づくり 明海リサイクルセンター 金属高度選別設備（2021年10月稼働予定）</li> </ul>
全社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康経営優良法人2021」に認定（2021年3月認定）</li> <li>・「エコリーフ」環境ラベルを6製品で取得（2020年11月取得）</li> <li>・仏EcoVadis（エコバディス社）のCSR評価で「ゴールド」を2年連続獲得（2021年4月取得）</li> <li>・柔軟な働き方の推進：テレワークの定着、フレックス制度のパイロット導入、時差出勤制度の拡充、ジョブリターン制度の導入等</li> </ul>

## ■ 日本初の3層塗膜構造を採用した「高輝度メタリックカラーホイール」発売

多様化する顧客のニーズに応え「選ぶ喜び・乗る喜び・見る喜び」をテーマに開発。

- ・5色展開で車体との一体感の醸成を実現
- ・バス・トラックホイール（商用車用ホイール）分野で、日本初の3層の塗膜構造を実現
- ・塗膜を厚くすることで耐食性能の向上を実現（従来品比約200%アップ）

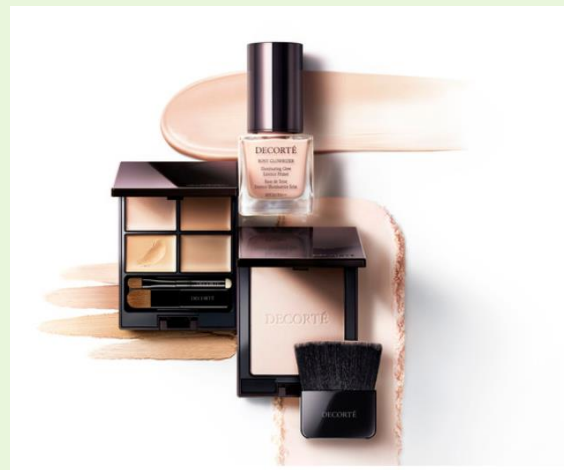


■車体との一体感を醸成するカラーバリエーション



## ■ 株式会社コーセーと素肌の発色構造を模した新パール剤を共同開発

素肌と類似した発色構造を持ち、シミ・クマなどの色調トラブルを自然にカバーできる高純度なパール剤を株式会社コーセーと開発。



当社独自のマイカ製造技術を生かし自然な色合いや肌触りを追求することで、課題とするコンシーラーの「仕上がりの不自然さ」を解消する素材となりました。

## ■ 「健康経営優良法人 2021 (大規模法人部門)」に認定


健康経営優良法人認定制度において、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として「健康経営優良法人 2021 (大規模法人部門)」に認定されました。



会社および職場の魅力を高める「健康経営」への取り組みを2020年6月より開始


からだ

- ・保健指導
- ・食習慣
- ・運動習慣
- ・禁煙




こころ

- ・ストレスチェック
- ・過重労働防止
- ・ハラスメント教育
- ・悩み相談



ワークライフ・バランス

- ・労働効率化
- ・休暇取得促進
- ・子育て支援
- ・介護支援
- ・余暇活動支援



## ■ 仏EcoVadis エコバディス 社のサステナビリティ調査にて2年連続「ゴールド」を獲得

豊橋製造所が、サステナビリティ（持続可能性）の調査において、2年連続で「ゴールド」評価を獲得しました。



グローバル市場における持続可能なサプライヤーとしての当社のプレゼンスが向上



**參考資料**

## ■緊急収益改善策

新型コロナウイルス感染拡大による収益への影響を最小限に抑えるため、統制可能な固定費を中心に削減。

### 【緊急収益改善策による効果】

2020年度実績  
(前期比)

- 大幅な需要変動に即応した生産稼働体制の見直し
- 収益基盤を強化するための固定費の削減
- 役員報酬および管理職給与の減額

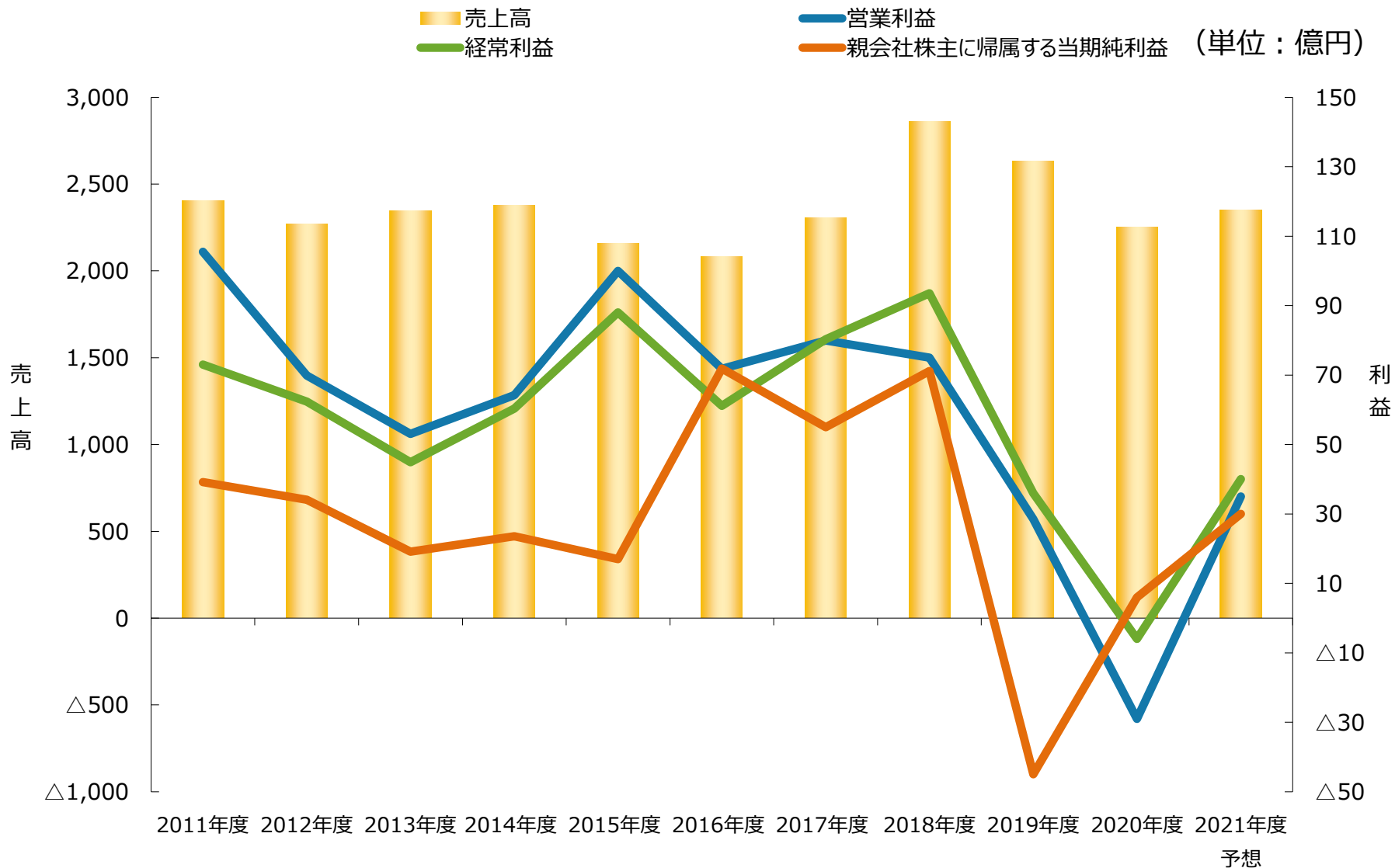
固定費削減  
79億円

- 雇用調整助成金の申請と休業の実施

営業外収益  
5.6億円



# 業績推移



# 連結貸借対照表



(単位：億円)

資産の部	2019 年度末	2020 年度末	増 減	負債の部	2019 年度末	2020 年度末	増 減
現金及び預金	238	<b>245</b>	+7	支払手形及び買掛金 (電子記録債務を含む)	372	<b>402</b>	+30
受取手形及び売掛金	448	<b>511</b>	+63	社債・短期借入金	210	<b>293</b>	+83
棚卸資産	403	<b>404</b>	+1	その他	159	<b>147</b>	△12
その他	62	<b>64</b>	+2	流動負債 計	741	<b>842</b>	+101
流動資産 計	1,151	<b>1,224</b>	+73	社債・長期借入金	558	<b>518</b>	△40
有形固定資産	1,005	<b>981</b>	△24	その他	210	<b>203</b>	△7
無形固定資産	46	<b>39</b>	△7	固定負債 計	768	<b>721</b>	△47
投資その他資産	345	<b>403</b>	+58	負債 計	1,509	<b>1,563</b>	+54
固定資産 計	1,396	<b>1,423</b>	+27	株主資本	993	<b>997</b>	+4
資産 計	2,547	<b>2,647</b>	+100	その他包括利益	34	<b>78</b>	+44
				被支配株主持分	11	<b>9</b>	△2
				純資産 計	1,038	<b>1,084</b>	+46
				負債純資産 合計	2,547	<b>2,647</b>	+100

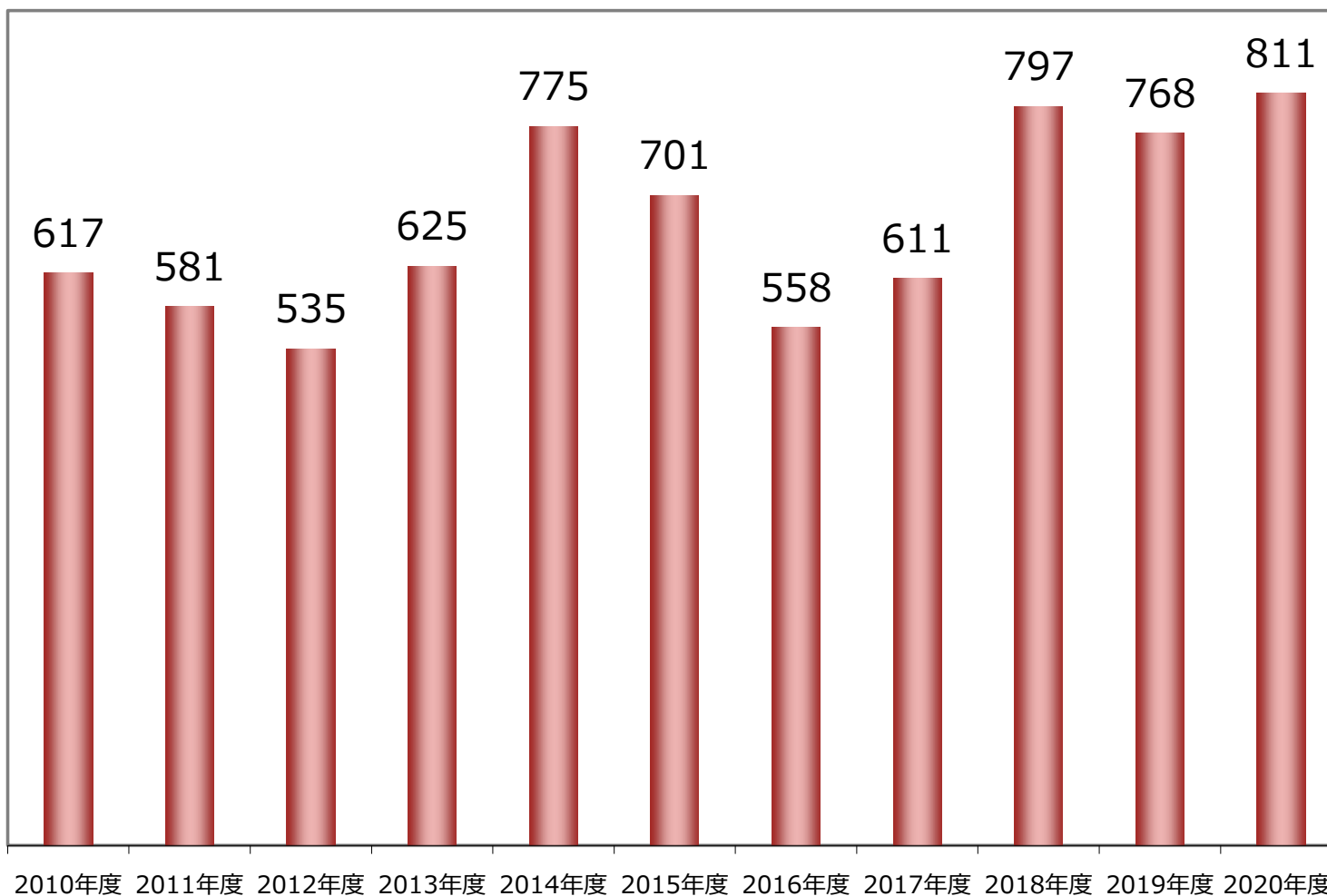
# キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2019年度	2020年度	増 減
経常利益	36	△6	△42
棚卸資産増減額	45	△5	△50
減価償却費	123	125	+2
その他	△42	△57	△15
営業活動によるキャッシュフロー	162	57	△105
設備投資	△163	△115	+48
その他	3	26	+23
投資活動によるキャッシュフロー	△160	△89	+71
フリーキャッシュフロー	2	△32	△34
配当金支払	△26	△0	+26
借入金増減他	△39	36	+75
財務活動によるキャッシュフロー	△65	36	+101
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△2	±0
現金及び現金同等物に係る期末残高	231	233	+2

# 有利子負債

(単位：億円)





TOPY INDUSTRIES, LIMITED

*One-piece Cycle*

流れるように美しい、技術と品質。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。